



インクルファンドで助成した団体を紹介します

地域の資源をつないで安心の拠点づくり オープンリビング けやきの見える家 (杉並区)

誰でも立ち寄り、お茶を飲んでおしゃべりができる個人宅開放型オープンリビングです。住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けるために、多世代が集い交流する場として、2014年10月から毎週木曜日の午後開設されています。

支援者(ボランティア)育成のためには、開設前に杉並区の長寿応援ファンドの助成を受けて「ご近所ささえあい教室」を開催、修了した17人が活躍しています。楽器演奏や地域の方のお話、手作り作業など、区のNPO活動資金助成事業の助成を受けて毎回楽しい企画が実施されており、中でも「一人ではいる人がいないように」ということを第一に心がけているとのことでした。ケア24善福寺(地域包括支援センター)や保健師さんの全面的な協力・連携のもとに運営されているので、日常の困りごとの相談もできます。高齢者だけでなく、子育て中のお母さんの参加も口コミで増えているとのこと。オープン以来、38回の開設で818人(1回平均21人)、関係者を含めると1,320人(平均34人)

が参加しています。この日も参加者の中には地域包括支援センターの方、すぎなみ協働プラザの方、保育の体験授業の協力者を探しに来た中学校学校支援本部の方等、さまざまな役割を持つ顔ぶれが集い、地域の資源や情報がつながる場となっていました。まさにインクルーシブ事業連合の「市民による市民のための安心ネットワーク構想」でイメージした、地域の資源を結ぶセンター機能の役割と重なると感じました。今回インクルファンドの助成を決定した調査活動(1面参照)の結果を市民版地域福祉計画づくりに生かし、具体化に向けてすすむことを大いに期待したいと思います。



この日の企画は新聞紙でつくるエコバック教室でした。

サポーター募集中

あなたの1日10円で、つながり・支えあう豊かな地域社会をつくりましょう!

サポーターとは『地域ごとに必要な機能をつくり、市民が参加し利用するまちづくり型福祉』を推進し、豊かな地域社会づくりにつなげるために、インクルーシブ事業連合の運営および助成の財源を寄付で支える、個人または団体のことです。

<会費> 個人 3,600円/年 団体 10,000円/年

※生活クラブ組合員の場合、登録制で300円/月を共同購入代金と一緒に引き落としができます。

★サポーターになるには、下記の登録申込書をファックスまたは郵送していただくか、ホームページのお申し込みフォームからご登録ください。URL <http://inclusive-gr.com/>

郵送先: 〒156-0051 世田谷区宮坂3-13-13 3F「生活クラブ・東京」内 インクルーシブ事業連合
ファックス: 03-5426-5203 電話: 03-5426-5207

お名前			
ご住所	〒		
電話番号		メールアドレス	
所属	・一般 ・助成を受けた団体 ・生活クラブ生協(組合員コード:) ・運動グループ(団体名:) 会員・メンバー ・その他 ()		
申し込み口数	個人 () □ 1 □ 3,600円/年	団体 () □ 1 □ 10,000円/年	

※ ご記入いただいた個人情報は、インクルーシブ事業連合のサポーター登録およびお知らせの送付に限り使わせていただきます。

つながって実現! 市民主体のまちづくり型福祉

インクルーシブ通信

2015年9月
vol.13



発行: 生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 発行責任者: 土谷雅美 <http://inclusive-gr.com>

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-13-13 生活クラブ・東京内 TEL 03 (5426) 5207 FAX 03 (5426) 5203

第4回通常総会報告

生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合は2015年6月27日に第4回通常総会を終え、新年度の活動をスタートさせました。



〔主な活動計画〕

●市民版地域福祉計画の策定

・2014年度に策定した「市民による市民のための安心ネットワーク構想」(*)を活かした市民版地域福祉計画の策定をすすめるための学習会・フォーラムおよび福祉ツアーを実施します。

・すでに市民版地域福祉計画の策定に取り組んでいる地域協議会をはじめ、取組みを検討している地域協議会も含め、情報共有する場(仮称・安心ネットワーク連絡会)を設置し、実践につなげます。

・空き家や空きスペースなどの地域の資源を活かせるように、情報を共有します。

(*) 24時間365日の安心を支えるために必要な地域の人や情報ネットワークづくりをすすめる、コーディネートするセンター機能の創出と、地域に必要な事業をつくり出すことを柱にした構想です。

●共にはたらく事業所を支援する、就労支援事業サポートの方針の具体化に向けた議論をすすめます。

●インクルファンド助成の年間予算を600万円とします。また、財源を支える登録寄付(サポーター)拡大を重点課題とし、年度末目標を800口(1口300円/月)とします。



総会に先立ち、2014年度にインクルファンドで助成した団体の活動報告を行いました。(左・NPO法人麻の葉/右・昭島・まちの縁がわワーカーズ朝日町)

インクルファンド助成審査結果

2015年度第1回(7月助成) 応募件数2件
助成総額32万円

●ふろしキッチン(仮)(ひとり親、貧困家庭、孤食の子ども達への夕食の提供)

NPO・ACT 練馬たすけあいワーカーズふろしき
助成額: 10万円 *助成分野: 地域福祉に関する地域の活動

●西荻北・善福寺地域をモデルに、地域包括ケアシステムの在り方を探るための調査活動と政策提言

「オープンリビングけやきの見える家」運営会議
助成額: 22万円 *助成分野: 地域福祉に関する地域の活動



↑公開プレゼンの様子

2015年8月1日現在
インクルサポーター
398人・423口

2017年度末目標 2000口

【インクルーシブ事業連合構成団体】生活クラブ生協・東京/NPO法人アビリティクラブたすけあい(ACT)/社会福祉法人悠遊/東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合/東京・生活者ネットワーク/東京コミュニティパワーバンク/NPO法人市民シンクタンクひと・まち社/認定NPO法人まちぼつと/環境まちづくりNPOエコメッセ